

要請番号 (JL32723A19)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ペルー	H131 栄養士		個別	交替 2代目	2年	・2024/1・2024/2・ 2024/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

日ペルー友好国立障害者リハビリテーションセンター

3) 任地 (リマ市チョリヨス区) JICA事務所の所在地 (リマ市サンイシドロ区)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

日本の無償資金協力により移築された、国内唯一の公立障害者リハビリテーション研究機関。2013年1月に稼働開始。医師、PT、OT、言語聴覚士、看護師、ソーシャルワーカー、心理療法士、事務職員など、約600名が勤務している。運動障害部門(脊髄損傷、脳損傷、切断、脊柱変形など)、知的障害部門(適応・知的障害、高次脳機能障害など)、言語聴覚障害部門、小児発達障害部門などを要する。1日平均外来患者数は約1,200人。入院施設は脊髄損傷患者のみ対象で32床、「(草の根技術協力事業) ペルーにおける障害児スポーツ指導力強化および普及促進プロジェクト」実施中 (2022年2月~2025年2月)。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先へは2013年からJICA海外協力隊派遣を開始し、PT、OTを中心に長期隊員4名が活動してきた。現在活動中の隊員(栄養士)は、同僚の栄養士らと共に業務効率化に繋がるような資料の改善や、患者にとって分かりやすい栄養指導資料の作成に取り組んでいる(2024年7月まで)。配属先からは、同分野にて引き続き協力が必要とのことで、後任隊員の要請がなされた。本要請では、左記資料作りの他に、理学療法士と連携した栄養指導や病院食調理への助言、提案等が求められている。病院食調理は委託業者に依頼しているが、患者への柔軟な対応が求められる昨今、献立のマンネリ化を解消するために、メニューのレパートリーを増やし、より適切な食事が提供できるように支援する。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先と同僚と共に以下の活動を行う。

- 病院食に関して、基準レシピや患者の病状に合わせた献立の提案。
- 栄養指導や講習会で使用する教材の作成、改定。
- 入院患者に対して食生活や栄養摂取に関する正しい知識の指導。
- 外来患者とその家族に対して個人栄養指導をすると共に、勉強会(集団指導)の企画し実施。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

体重計、パソコン、プリンター、机、事務用品など

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

栄養士科長(女性、40歳代、経験25年以上)

栄養士 7名(30歳~40歳代)

活動対象者:入院患者(脊髄損傷患者中心)10歳から80歳までおよび外来患者

5) 活動使用言語

スペイン語

6) 生活使用言語

スペイン語

7) 選考指定言語

言語問わず(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：(栄養士)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 5年以上 備考：指導上必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(砂漠気候) 気温：(10～30°C位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

住居は原則ホームステイとなります。